

## 障害者就労促進

### 関連する 2022 年までの目標

○障害者の実雇用率 2.3%

(平成 30 年 6 月 15 日閣議決定「未来投資戦略 2018-「Society 5.0」「データ駆動型社会」への変革-」により策定)

項目	2019 年度 目標	2019 年度 実績	2018 年度 目標	2018 年度 実績	2017 年度 目標	2017 年度 実績
①ハローワークにおける障害者の就職件数	102,318 件以上	80,396 件 (4~12 月)	97,814 件以上	102,318 件	93,229 件以上	97,814 件
②障害者の雇用率達成企業割合※1	49.4%以上	—	47.4%以上	48.0% (2019 年 6 月 1 日時点)	46.5%以上	45.9% (2018 年 6 月 1 日時点)
③精神障害者雇用トータルサポーターの相談支援を終了した者のうち、就職に向けた次の段階(※2)へ移行した者の割合	74.3%以上	77.7% (4~12 月)	73.4%以上	74.5%	70%以上	73.9%

(備考)

※1 2016 年度までは【厚生労働省「障害者雇用状況報告」】50 人以上規模の企業において法定雇用率を達成(注)している企業の割合。2017 年度以降は、45.5 人以上規模の企業において法定雇用率を達成(注)している企業の割合。

(注) 法定雇用障害者数に不足数がないこと。

※2 就職(トライアル雇用含む)、職業紹介、職業訓練・職場適応訓練へのあっせん

### 2019 年度目標設定における考え方

① ハローワークにおける障害者の就職件数  
前年度以上。(2018 年 : 102,318 件)

② 障害者の雇用率達成企業割合

2018 年 4 月 1 日からの雇用率引き上げ(2.0%→2.2%)に係る影響が正確に推計できないため、直近の実績(2017 年 6 月 1 日現在)を踏まえつつ、制度改正のあった 2011 年と 2013 年を除いた過去 10 年の平均伸び率を参考に設定。

③ 精神障害者雇用トータルサポーターの相談支援を終了した者のうち、就職に向けた次の段階へ移行した者の割合

直近3か年の実績の平均を目標値として設定

施策実施状況

① ハローワークにおける障害者の就職件数

2019年4月～12月までの就職件数は、80,396件（前年同期比0.4%増）

<障害種別ごとの就職件数>

身体障害者：20,094件（前年同期比5.0%減）

知的障害者：16,445件（前年同期比3.8%減）

精神障害者：39,428件（前年同期比4.6%増）

その他障害者：4,429件（前年同期比8.4%増）

② 障害者の雇用率達成企業割合

ハローワークにおいて雇用率達成に向けた厳正な指導を実施。

（参考）2019年6月1日現在の雇用状況

・雇用率達成企業割合：48.0%（対前年差2.1pt増）

（参考）2019年6月1日現在の企業規模別の達成割合

45.5人～100人未満 45.5%（対前年差1.4pt増）

100人～300人未満 52.1%（対前年差2.0pt増）

300人～500人未満 43.9%（対前年差3.8pt増）

500人～1000人未満 43.9%（対前年差3.8pt増）

1000人以上 54.6%（対前年差6.8pt増）

③ 精神障害者雇用トータルサポーターの相談支援を終了した者（A）のうち、就職に向けた次の段階へ移行した者（B）の割合

77.7%（A：9,765人、B：7,585人）（2019年4月～12月）

（参考）2018年4月～12月

75.1%（A：10,077人、B：7,563人）

2019年度中間評価段階における施策実施状況に係る分析

① ハローワークにおける障害者の就職件数

2019年4月から2019年12月までの就職件数は、80,396件（前年同期比0.4%増）となっており、目標（102,318件）の達成に向けておおむね好調に推移している。この傾向を維持すれば、目標を達成することが見込まれる。

② 障害者の雇用率達成企業割合

2019年においては、雇用障害者数は16年連続で過去最高を更新するなど、民間企業における障害者雇用は着実に進展している。また、2019年6月1日現在の雇用率達成企

業の割合は 48.0%（前年から 2.1pt 増）となっており、2018 年度目標（47.4%以上）を上回った。一方で、障害者雇用ゼロ企業が約 3 割あることから、未達成企業に対する指導・支援の強化など、更なる対策が必要である。

③ 精神障害者雇用トータルサポーターの相談支援を終了した者のうち、就職に向けた次の段階へ移行した者の割合

求職者のみならず、事業主を含めた総合的な支援を実施しており、障害の理解促進やマッチングに資する同行紹介や、職場実習の実施を始めとする支援が増加した結果、2019 年上半期時点での実績は、目標値を超える 77.7%となっている。

施策の達成状況を踏まえた評価及び今後の方針

① ハローワークにおける障害者の就職件数

就職件数は、企業における障害者雇用への理解が進んでいること、就職を希望している障害者が精神障害者を中心に増加していること及び求職者向けチーム支援の実績が伸びていること等により前年同期実績を上回っており、目標達成に向けて順調に推移している。このことから、引き続き、ハローワークが中心となり、福祉、教育、医療等の関係機関と連携して求職者向けチーム支援を推進すること等により、目標を達成することが可能であると考える。

② 2019 年 6 月 1 日現在の障害者雇用状況

2019 年 6 月 1 日現在の民間企業における障害者の雇用状況については、雇用障害者数、実雇用率ともに過去最高を更新している。一方で、障害者雇用ゼロ企業が約 3 割あることから、こうした企業も含めた未達成企業に対して、採用の準備段階から採用後の職場定着まで一貫したチーム支援、就職面接会や集団指導、職場実習の実施に向けた面接会等を積極的に実施し、改善を図ることとしている。

③ 精神障害者雇用トータルサポーターの相談支援を終了した者のうち、就職に向けた次の段階へ移行した者の割合

2019 年 4 月～12 月までの実績は、目標値を超える 77.7%となっており、年度目標の達成に向けて、好調に推移している。精神障害を持つ求職者は年々増加しており、就職に対するニーズは高まっている。引き続き、求職者に対するカウンセリングに加え、事業主に対しても、障害特性の理解の促進や、マッチングの促進に向けた事業所訪問等の受入体制の整備を通じ、精神障害者等の雇用に係る課題解決のための支援を実施することとする。

分科会委員の意見